

推進委員会の主な意見

項目	主な意見
<p>【基本目標 1】 地域産業と地域ブランド力に磨きをかけ、泉大津市で働き住み続けたいと思う市民の希望をかなえる。</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人の労働力を取り込むという記載がないがどのように考えているか。
①	<ul style="list-style-type: none"> ・企業数、事業所数の総数自体を目標値にしては？ ・取組内容は、新規創業や誘致の促進のみならず、事業承継や市域内での経営統合の促進など減少の食い止め面もあるかと思う。 ・創業支援が銀行で言う資金調達に繋がる部分になると思うが、市内事業者との連携は？ ・創業を戦略として押し出しているように見えるが、企業誘致件数の中に創業件数は含まれているのか。入っていないのであれば、どの程度の規模での創業件数を戦略的に目指すのか。 ・小売業を中心に従業者数は増えているということだが、右肩下がりの企業数の減少を戦略的に食い止めるという点は何か考えているか。 ・国は地銀の商社化を求める動きが出てきており、地銀と自治体は地域経済の担い手として重要な役割を果たすので、連携をより一層進めることも戦略になるのでは？ ・創業の意欲を持った人がチャレンジしやすい環境の整備には、特に、新規創業者や小規模企業者への支援も重要である。例えば、小売業や飲食業などの起業に挑戦する若者を対象とした起業セミナーの実施なども検討してみてはどうか。 ・既存産業の競争力向上に関する取組として、金融機関や商工等団体との連携による商品開発や販路開拓支援なども盛り込んでみてはどうか。 ・創業支援相談における民間（銀行等）への紹介件数を目標値に設定しては、どうでしょうか。
②	<ul style="list-style-type: none"> ・若者の就労を支える視点から、就職氷河期世代への対応支援なども検討してはどうか。
③	<ul style="list-style-type: none"> ・「2025年万博をチャンスととらえ、、、」は具体的なイメージは？ ・宿泊者数等を意識して万博の文言を入れているのか。 ・上段にある「また、2025年万博をチャンスととらえ、集まるアイデア、人材を活かしイノベーションが起こる環境を作り、市民共創、官民連携で社会課題や地域課題を解決するソーシャルビジネス等の事業化へ向けた取組を行います。」を受けた、数値目標（例：ソーシャルビジネスの事業化件数●件）が必要ではないか？
<p>【基本目標 2】 地域資源を活用した取組となんでも近い泉大津市の強みを活かし、それらを積極的に情報発信することにより、様々な交流を生み出す。</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> ・「市外の人に自慢できる資源があると思う市民の割合」の指標があるが、地域住民の地域に対する愛着や誇りがシティプロモーション、観光振興のベースになることを考えると、目標値 40%は低めに設定しているのでは。
①	<ul style="list-style-type: none"> ・9市4町の中でも泉大津市は観光面で弱い。今後どういう施策をうっていくのか。 ・住民意識の醸成が観光資源に繋がっていく。また、文化的にも繊維産業を活性化し、地

項目	主な意見
	<p>域を盛り上げていく大きな視点が必要。 ビューローをどうやって活かすか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マリーナエリアが今の状態では憩いの場として機能していない。実はこのエリアは、釣りのポイントとして人気があり、市外からも釣りに来られる方は多いので、ひとつの観光資源になると考えている。
②	<ul style="list-style-type: none"> ・地域連携 DMO によるプロモーションを主軸とするのであれば、「市 HP へのアクセス数」ではなく、「地域連携 DMO の HP へのアクセス数」としてはどうか？ ・市民からの発信が推進することに期待したい。例えば、市民・学生・企業等との連携事業件数や、大学や企業との連携協定件数を KPI として設定してはどうか。 ・「市民・学生・企業等と連携した情報収集・発信体制の構築」の具体的なイメージは？ ・行政は広報が苦手だが、外部にブレーンをつける自治体も出てきている。企業を巻き込んでいく考えは？ ・コミュニティ FM 放送局として、情報発信など連携できる。
<p>【基本目標 3】 地域ぐるみの助け合いやつながりで、結婚・出産・子育てを支援するとともに、就学前教育・学校教育を充実させ、若い世代の市民が魅力を感じる環境をつくる。</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> ・教育の充実も大切だが、防災の拠点ともなる施設の充実を進めていただきたい。危険な通学路の解消も考えていただきたい。子供を産み育てやすい地域に直結する。
①	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティスクールの充実/促進とあるが、学校と地域の対話の促進も重要となる。未就学児の子育ての負担軽減は重要。ICT を活用した子育て支援とは？ ・市民に伝えるための仕組み作りが重要で、市民への浸透をチェックできる方法はないか？
②	<ul style="list-style-type: none"> ・学童保育については申込者数に対する入れる人の数はどうか。地域の生産性を上げるためには大切になってくる数字ではないかと感じる。 ・タブレット端末の個人別整備やそれらを活用した ICT 教育について、先進自治体や私学等では進んでいる。グローバル人材の育成の点では、英語のみならず、ICT 教育の促進はどうか。 ・論理的思考の第一歩として、主観的評価として読書が好きというのはすごく大事。読書の好きな児童の割合のデータの取り方は？
<p>【基本目標 4】 地域が一体となった取組や支援などにより、安全・安心な暮らしと快適な住環境をつくる。</p>	
①	<p>「自主防災組織結成率」の算定根拠を注釈に入れてはどうか。 (文字を見て数式が判明しにくいと思う。)</p>
②	<ul style="list-style-type: none"> ・「高齢者」の表記が少なくなり、高齢者介護の視点が少し弱まっているように感じるが。
	<ul style="list-style-type: none"> ・歩行者や自転車の安全へ配慮した道路整備の推進については具体的な事例はあるか？ ・公園について、どのように整備を進めていくか？
④	<ul style="list-style-type: none"> ・KPI で、市民活動団体の活動分野の傾向は？ソーシャルビジネスとも関連するため、クロスで測ることができればおもしろい。 ・市民活動の支援については、補助金交付だけでなく、連携のコーディネートなど継続的

項目	主な意見
	<p data-bbox="323 208 1423 286">に活動をサポートする仕組みを考える必要がある。おづぶらぎにおける連携のマッチング数などを KPI として設定してはどうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="304 309 1423 387">• がんばろう基金の積極的な活用とは。 がんばろう基金の要件の緩和は行っているのか。 <li data-bbox="304 409 1423 533">• 公的資金が入って立ち上がるが、資金面を含めていかに継続させるかも重要なポイントとなる。資金調達が市民活動の継続には重要で、そこを解消できればソーシャルビジネスに繋がっていくと思うが、方策はあるか？ <li data-bbox="304 555 1423 622">• 色々なステークホルダーの調整役となるコーディネーターも重要。育成するのか外部調達するのか考えは？